

# 志を受け継ぐ人々の輪

世界的な医療援助を続け  
 ている「アジア医師連絡協  
 議会（AMDA）」本部  
 ・岡山市の小児科医で昨  
 年十一月、リンパ腫（し  
 ゅ）で他界した篠原明さん  
 当時（三二）について、あ  
 る友人（三）は「論語では、  
 弟子に『士（紳士）』を問  
 われた孔子が『行動に恥じ  
 らいがあり、国内外を問わ  
 ず、公務を全うして尊敬を  
 得る人』と答えています。  
 まさに彼のことだと思いま  
 した」と評した。

晩年、関西医大付属病院  
 の病床にあつたときも篠原  
 さんは明るかった。看護婦  
 さんに「点滴を指導したことあ  
 り。ひどい悪寒にうなされ  
 ても「寒寒ぐらいでお母  
 も、遺族のもとを訪れる人  
 や手紙が後を絶たない。」  
 篠原さんの葬儀には七百  
 人以上が参列したが、今  
 むも、遺族のもとを訪れる人  
 や手紙が後を絶たない。

と笑い飛ばした。  
 同病院の看護婦、鈴木由  
 香さん（三三）は「病床でも世  
 界を夢見た純粋な志にうた  
 れ、私もAMDAに入りま  
 した」。今月末には病院を  
 退職し、本格的な国際医療  
 協力を始める。篠原さんの

遺族がAMDAに寄付し  
 た香典などの三百万円を基  
 にした篠原基金は、多くの  
 善意ですでに五百万円に。  
 私立金蘭千里中・高時代の  
 友人、飯岡忠昭さん（三三）も  
 「同窓生全員にカンパを募  
 って基金に寄付する」と呼

びかけ文を作成中だ。  
 「広救院釈直明」と戒名  
 を記された新しい位はいが  
 置かれた仏壇の前で、母の  
 浪枝さん（五九）は将来、篠原  
 子どもたちを慈しんでい

笑顔で子供を抱く篠原さ  
 ん。短い生涯だったがそ  
 の遺志は多くの人の手で  
 開花しようとしている



笑顔で子供を抱く篠原さ  
 ん。短い生涯だったがそ  
 の遺志は多くの人の手で  
 開花しようとしている

ました。その遺志が皆さん  
 の手で開花しようとしてい  
 る。きつと大きな花になる  
 でしょう」

基金に関する問い合わせ  
 はAMDA（☎086・2  
 84・7730）へ。協力は  
 郵便振替〇二五〇一  
 一四〇七〇九（AMDA篠  
 原基金）

（社会部 吉村剛史）  
 〓おわり